

コヤナギ[®]BP ニュース No. 104

発行 小柳商事株式会社
TEL 03-3739-1111
平成 26 年 11 月 吉日

2014



【特集】 有機溶剤による健康被害！

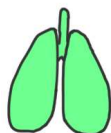
先月のコヤナギニュースでは特化則（特定化学物質障害予防規則）の話に触れましたが、それに関連するものとしてよく挙げられるのが、化学物質による健康被害の話です。今回は、有機溶剤等に含まれる主な化学物質がどのような影響を人体に及ぼすか、図と文章で簡略にまとめてお届けします。（引用資料：ボディーショップレポート 2014年11月号）



目

スチレン：色の識別がしにくくなる

メタノール：視神経に障害をきたす、失明の恐れ



肺・呼吸器

ほとんどの有機溶剤に共通：のどなどの炎症による咳

キシレン：肺の鬱血、肺水腫など



血液

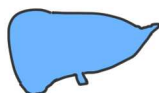
スチレン：白血病やリンパ腫の発生率を増加させたとの報告あり



脳・中枢神経

ほとんどの有機溶剤に共通：中枢神経の中毒、麻酔作用によるめまい、ふらつき

トルエン：脳萎縮



肝臓

スチレン：肝臓肥大化の報告あり



生殖毒性

スチレン：暴露による精子の減少が示唆されるとの症例報告

エチルベンゼン：生殖能または胎児への悪影響の恐れ



皮膚

ほとんどの有機溶剤に共通：皮膚の炎症、色素脱失



胃腸

メチルイソブチルケトン：胃痛の症例報告あり

有機溶剤による障害の起こり方として、

皮膚または粘膜（眼、呼吸器、消化器）に付着して障害を起こすもの

皮膚または粘膜から吸収された後、全身に循環して障害を起こすもの

長期にわたる反復吸収によってその物質が特定の器官に蓄積され、障害を起こすもの

に分けることができます。皮膚から特に吸収されやすいトルエン、キシレン、メチルイソブチルケトンはいずれも塗料に含まれるもので注意が必要です。

（参考資料：産業医・検診医のためのハンドブック）

また、有機溶剤の製造・取扱い業務に従事する労働者に対しては、雇い入れまたは当該業務への配置替えの際およびその後 **6ヶ月以内ごとに1回**、規定の項目について健康診断が義務付けられています。詳しくは小柳商事の営業担当にお問い合わせください！

【業界ウォッチ】10月新車市場、首位はアクア！

表1 10月新車販売台数トップ10

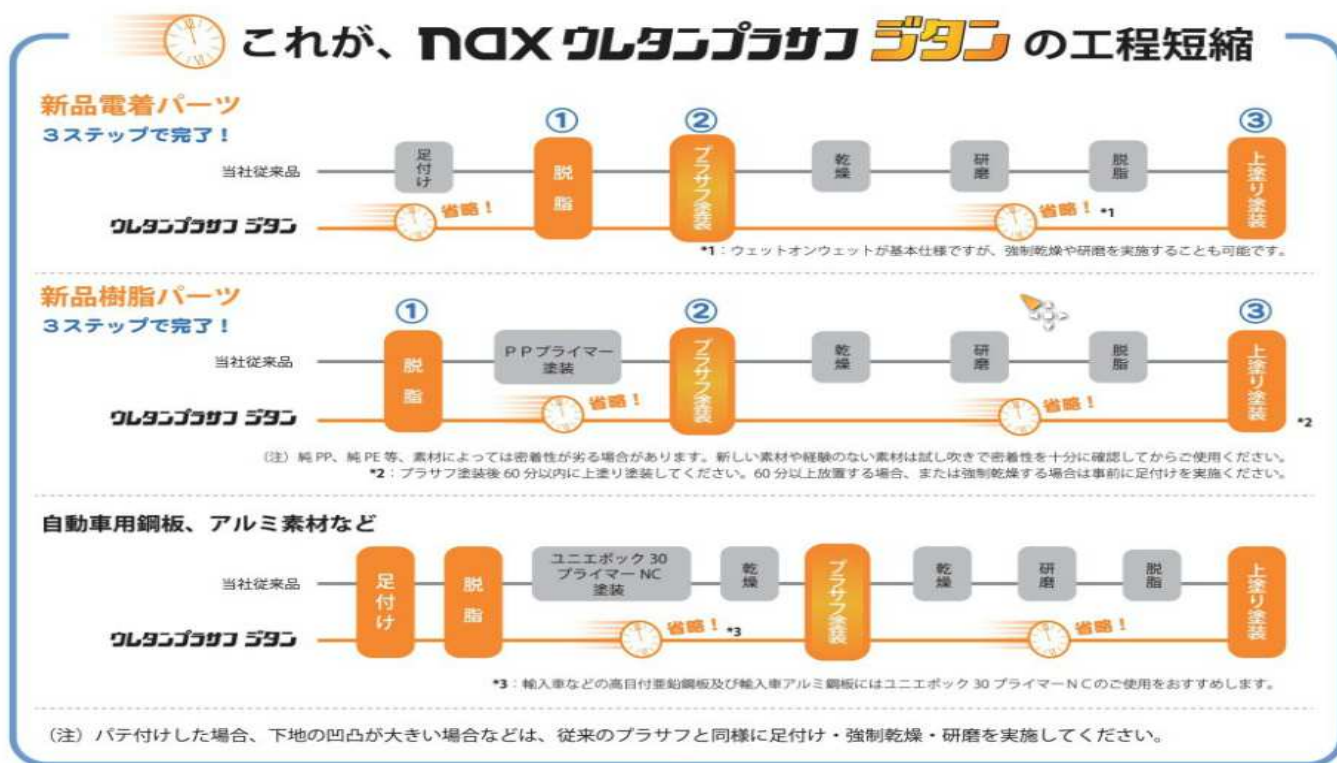
順位	車名	台数
1	アクア	18,031
2	タント	16,237
3	N-BOX	13,988
4	フィット	13,506
5	プリウス	13,183
6	ワゴンR	11,900
7	ヴォクシー	10,735
8	ハスラー	9,936
9	N-WGN	9,388
10	ミラ	9,167

日本自動車販売協会連合会と全国軽自動車協会連合会は7日、2014年10月の車名別新車販売ランキングを発表した。総合順位では1万8031台を販売したトヨタ自動車「アクア」が2ヶ月ぶりにトップ。2位にはダイハツ「タント」が続き、ホンダ「N-BOX」は13年12月以来のトップ3に返り咲いた。

一方のフィットは、7月以来3ヶ月ぶりに3位圏外となった。登録車ランキングはアクア、フィット、トヨタ「プリウス」が3ヶ月連続で同順トップ3を維持。上位30位中、16車種がハイブリッド車(HV)となり、海外メーカー車を除く全乗用車に占めるHV比率は39.7%だった。

(引用文献：日刊自動車新聞)

【情報】新商品 日本ペイント ウレタンプラサフ「ジタン」



新品の電着パーツ・樹脂パーツがジタン(時間短縮)で仕上がる!

プラサフ塗装の重要性

新品パーツの電着塗膜は上塗り塗膜に比べ、紫外線に弱く、プラサフ工程を省略すると経時での塗膜剥離やブリストアなどの原因になる可能性があります。

プラサフ塗装をすることで、これらトラブルの発生する可能性を低減できます。

